

八ヶ岳中央農業実践大学の新たな取り組み

「地域」と「人間」の背丈に合った方向で革新的技術を取り入れ、農業を復権しようという意欲に燃えた青年たちよ、来たれ！

- 1 当校は、我が国で最も伝統ある農業実践大学校（創立80周年）です。約270haの広大で平坦なフィールドで農業経営を実践できる全国でも稀有な農業実践教育施設で、全国から学生が入学し、卒業生のほぼ100%が就農します。

ベンチャー企業等の先進技術を広く現場に取り入れる革新的技術の実証・開発と相まって、全学生が各種プロジェクト研究に取り組んでいます。

八ヶ岳連峰を望み、農場と森林(約100ha)に抱かれた風光明媚な地に原村と茅野市にまたがって立地し、御柱街道が中央を抜けています。

- 2 当校は、セロリ、レタス、ブロッコリー、ハクサイ、キャベツ、ホウレンソウ等の高原野菜、トマト、ナス、ピーマン等の果菜類、ジャガイモ、スイートコーン、カボチャ等の畑作物、飼料作物、牧草(草地約100ha)のほか、シクラメン、ペゴニア、プリムラ等の鉢花、花壇用苗、ハーブ類等を栽培しています。

乳牛145頭、採卵鶏1万羽等家畜の飼養や牛乳・アイスクリーム・チーズ・ヨーグルト、ソフトクリーム等の乳製品加工をし、農畜産物を多様なルートで流通させるとともに、直売所でも販売し、軽食も提供します。

小中学生、高校生を対象に毎年、農林体験学習に約1万5千人を受け入れるとともに、保育者等の滞在型研修や社会人の短期研修等も行っています。

3 近年の新たな取り組み

平成26年度以降

- ①産学連携によるIT農業基地の確立

・データセンターやセンサーを利用したスイートコーンの収穫適期予測システム(日立ソリューションズ東日本と連携)

・ドローンや高精細カメラ等の活用によるセロリの芯腐れ早期検知の実証(日立ソリューションズ東日本等と連携)

・温度センサーによる野菜ハウス管理の共同研究(東京理科大学と連携)

- ②世界でも類例のない移動式搾乳機を使った放牧酪農への転換の推進(山梨県酪農試験場等と連携)(平成26~27年度)

- ③幼児への食育を狙いに保育者等を対象とし、食育・保育・児童心理学等の専門家の指導で滞在型農林体験研修の展開(26~27年度)

- ④菌床キノコ栽培の開始(早稲田大学との連携) (裏へ)

- ⑤ ベンチャー企業等の先進的技術を現場に取り入れて実証し、地域と人間の背丈に合った方向で技術革新（「八ヶ岳フォーラム」の開催）

平成 28 年度以降

- ① 移動式搾乳機の小型化・軽量化、泥濘化への対応等の実証による放牧酪農の地域への展開（平成 28 年度～30 年度）
- ② ファインバブル、植物発酵・イオン化液等を活用した畜産糞尿の悪臭防止と良質堆肥生産の実証や耕畜連携の循環型農業モデルの構築（鹿児島大学、山梨県畜産酪農センター、御池鐵工所、TS エコファーム等と連携）（28 年度～30 年度）
- ③ 子どもの心身を守り育てる保育者等の職種を対象とした滞在型農林体験研修や、子どもの参加する滞在型の農林体験キャンプ等

平成 30 年度以降（実施及び検討）

- ① G-GAP{グローバルな適正農業規範}の認証取得のための取り組み
- ② アニマルウェルフェア（動物福祉）実証拠点農場の構築——酪農（舎飼い、放牧等） 平場養鶏（黒富士農場との提携）、放牧養豚（マンガリツツア豚）（平成 31 年度～33 年度）
- ③ ファインバブル水（ナノバブル水）の活用による養鶏の革新的生産性向上の実証
- ④ 放牧ジャージー牛からソフトクリームの製造・ブランド化（31 年度～）
- ⑤ 機能性土の活用による酪農の排水処理
- ⑥ 竹粉を活用した江戸千住ネギ（固有種）等の栽培実証（30 年度～）
- ⑦ 減圧平衡発熱乾燥法による規格外野菜の（半）乾燥製品化（31 年度～）
- ⑧ 野菜を利用した菓子の製造販売（31 年度～）
- ⑨ ファインバブル水、ミネラル水、鶏糞由来土壌改良材等の活用による減農薬・低コスト農業の実証（30 年度～）
- ⑩ 凍結解凍覚醒法等による熱帯果実等の栽培実証
- ⑪ デントコーン等を活用したメタン発酵発電・熱利用施設等の実証実験

農林技術アカデミーの開設（平成 29 年度～）

土壌・ミネラル・微生物・動植物・人間等の循環を踏まえた生物学的農業の構築を視野に、最新・最高の生きた科学技術を論じ対話し、「地域」と「人間」の背丈に合った技術の現場からの技術革新に資する。